

渋川市こども発達相談室ニュース 2023年5月号

～新緑がきれいですね、新しい環境には慣れてきましたか？～

今月の
テーマ

園・学校からこんなこと言われちゃいました、、、

●「制作中や授業中に落ち着きがありません」

集団での指導やクラス全体での活動など、先生が全体に対して指示を出す際にその指示がお子さんに入りづらい状況なのでしょう。指示が入らないので何をすべきか分からず、他のことに気が散ってしまいがちです。椅子をガタガタしたり、離席したり、他のお友達に声を掛けていたりもします。しかし、足をユラユラしたり体の一部が無意識に動いてしまっても、動きながら先生の話に集中している場合があります、動いている方が指示が入りやすいお子さんもいます。集中していないように見えても、実際その指示が入っているのか入っていないのか、よく観察する必要があります。

●「指示が入らずマイワールドになってしまいがちです」

個別に声掛けをすれば出来ることが多いかもしれませんが、全体への指示ではイメージが湧かずにうわの空になっている可能性があります。園や学校で、先生がお子さんの席を一番前にして個別の指示が入りやすいようにしたり、補助の先生に入ってもらったりする等、何か検討されているかもしれません。これから夏休みまでの間は先生との連携を密にして、お子さんの様子を注意深く見守ってみてください。

●「ペースが遅く、いつも一番最後になってしまいます」

指示は理解してそうなのに動きが遅く、身の回りの支度や作業に時間が掛かっています。先生は全体に対して指示をまとめて出すことがあります、最後の方に出された指示は覚えきれず、まわりの子たちの行動を見ながら何とか全体に付いて行っている状態かもしれません。全体のまとめた指示よりも、次はこれ、その次はこれ、というように指示を細かく順番に出してもらおう方が動きやすいお子さんも多いです。先生はクラス全体の様子を見ながら、必要なお子さんには個別の声掛けを工夫されるころだと思います。

●「他のお友達への当たりが強いです」

自分が出来ていても出来なくても、自分より相手の立場を低くしてマウントを取っているのでしょう。ご家庭でのお子さんの様子はいかがでしょうか。面倒見が良く精神的に年齢が高めなのか、それともご家庭では弱い立場なのでしょう。この場合、発達の問題というよりは「愛着」の問題が色濃い感じがします。ご家庭でのお子さんへの関りの中で、叱り過ぎていたり過干渉になっていることはありませんか。親子の関係性や家庭のバランスを一度見直されることをお勧めします。

そんな時こそ、渋川市こども発達相談室へ！！

これからのことを一緒に
考えて行きましょう



通級指導教室や特別支援学級
を勧められました、、、